

平成 29 年度 第 95 回獣医麻酔外科学会 専門医委員会 議事録 (案)

日時：平成 29 年 12 月 8 日 (金) 16:30～17:54

場所：名古屋国際会議場 (2 号館 2 階 221 号室)

出席者：大橋、望月、相川、大石、枝村、細谷、福井、廉澤、西村、原、秋吉

(順不同・敬称略)

協議事項

1. アジア獣医外科専門医について

西村 アジア獣医外科学会会長より、11 月 11 日、12 日に韓国 (大邱) にて開催されたミーティングにおいて、今後、アジア獣医外科学会としてアジア獣医外科専門医制度を発足する事が決定したとの報告がなされた。また、同時にこれまでのアジア獣医外科学会における議論の経緯、現状ならびに今後のロードマップなどが説明された (資料 Constitution 案および By-laws 案)。その後、日本小動物外科専門医委員会として、ア

アジア獣医外科専門医制度に積極的に参加するあるいはアジア獣医外科専門医制度に参加せずに日本独自の専門医制度を継続するなど、今後どのようなスタンスでアジア獣医外科専門医制度に関与していくか議論してほしいとの要望がなされた。種々の議論の結果、日本小動物外科専門医委員会として、アジア獣医外科専門医制度に参加する方向で議論していくことが決定された。

## 2. 日本小動物外科専門医番号について

秋吉委員から、メール会議にて懸案となっていた専門医番号について協議の依頼があり、種々協議の結果、ACVS 合格者としての資格にて日本小動物外科専門医に申請された新井史織先生の専門医番号ならびに林慶先生の専門医番号は、それぞれ 100 番および 109 番とすることが決定された。

## 3. 日本小動物外科専門医試験受験のためのガイダンスなどについて

林委員より、現在専門医試験を受験している大学教員あるいは今後、

受験する可能性があるレジデントに向けて、専門医試験を受験するに当たっての勉強法などを学会期間中にガイダンスしてはどうかとの提案があり、種々協議の結果、小動物外科専門医試験の合格に向けた勉強法について整形・神経外科および軟部外科それぞれガイダンスを実施する方向で、内容および講義時間など具体的に検討することとなった。

#### 4. 博士課程大学院生のレジデントプログラムへの参加について

細谷委員より、日本小動物外科専門医取得者が、博士の学位取得が求められることが多い大学に残っていない現状について、問題提起がなされ、これらの原因として、レジデントプログラムと大学院博士過程を同時に実施できないことが、原因となっている可能性があるため、解決策として博士課程大学院生がレジデントプログラムに参加できるように規定を変更してはどうかとの提案があった。種々協議の結果、今後、資格審査小委員会にて継続協議することとなった。

以上